

代表質問

9月定例会では、藤縄喜和議員（鳥取県議会自由民主党）、福岡裕隆議員（会派「絆」）が県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



藤縄 喜和 議員
選挙区 鳥取市

安倍改造内閣の評価は

問 石破茂・地方創生担当大臣に期待するものは何か。

答 鳥取県をよく知る方が任命され心強い。地方創生を進めるリーダーシップを発揮して頂きたい。

地方創生に向けて

問 政府は人口減少に歯止めをかけ、地方を活性化できるよう「まち・ひと・しごと創生本部」を設置した。評価と期待するものは。

答 人口最少で現場中の現場の鳥

取県がどう生まれ変わるかが地方創生の核心。鳥取県がリーダー役を果たしていくために地方創生の戦略を年度内にまとめる。

問 平井知事には地方創生の手本を示すことが求められており、力量も評価されている。引き続き県政を担って頂きたい。胸の内はいかがか。

答 真剣に意味のある話として重く受け止めた。私なりの責任も感じている。

全国知事会の成果は

問 7月に開催された全国知事会は「少子化非常事態宣言」と恒久的な代替財源の確保等の提言をまとめたが、その意義と成果を問う。

答 法人税改革、交付税の総額確保など、力を入れて議論した。折り合いをつけ地方税財政について提言をまとめた。「少子化非常事態宣言」で国を挙げて取り組む運動が起きれば良いと考える。

企業立地のあり方は

問 企業立地は地元企業に相乗

効果が出る戦略にすべきでは。
答 地元企業に波及効果のある立地を求めることはこれからの基本戦略。当初予算に向け産業政策のあり方を検討したい。

スポーツ振興のあり方

問 競技施設の整備が進み、環境が整えば、究極のスポーツコンベンションである国体を誘致するべきでは。

答 国体もやらなければならぬと認識。各方面の方々と意見交換して考えを煮詰めたい。来年度に入る頃にまとめ始めたい。

ジオパークの今後は

問 国会議員のジオパーク議員連盟が設立されるが、議連と連携して取り組みを生かすべきでは。

答 予算、制度的支援を国が作る上でも国会議員の存在は欠かせない。ユネスコの正式事業になるかどうかの非常に大事な時期に入ったことから国会議員のネットワークが重要な役割を果たし得る。

教職員人事異動方針は

問 25年度の総括を問う。併せて26年度の方針を問う。

答（教育長） 基本的には学校教

育の充実・発展と、教育水準の向上を期するという大方針で行っている。昨今は子どもの体力低下の問題などもクローズアップされているので対応も課題と認識。優れた人材を全県的に登用する。

鳥取県議会会派「絆」



福岡 裕隆 議員
選挙区 西伯郡

農業は、いの中の産業

問 農政改革が急速に進む中、県農業の位置づけをきちんとしなければ大変革には立ち向かえないのではないか。

答 国が示した方向性を鳥取県でも上手に使いながら、県らしい方向性を出していく。

問 新しい農政で、戸別所得補償制度が10a当たり一万五千円から七千五百円になる。七千五百円の減をどうカバーするのか。

答 基本戦略としては、飼料米への転作を推進することで埋め合わせしていく。残りは日本型直接支払いのスキームを活用したい。現場

主義で話し合いを重ね、良い方向へ誘導していきたい。

問 農地中間管理機構の農地の出し手の募集とマッチングはいつか。

答 10月から本格化。2月頃まで順次マッチングを行いたい。

問 集積した農地の基盤整備、維持管理は誰がするのか。

答 今日の議論を踏まえて再度提出させていただく。

問 土地の集積は下手をすれば兼業農家から土地を取り上げて企業に渡す政策になりかねない。農地中間管理機構による土地の運用の決定権は知事にある。どのように把握をして地域の農業農村を守る政策を作るつもりか。

答 「人・農地プラン」は、昨年6月に全市町村で策定済み。これを今後活かし、拡充しながら現場の活性化を図っていく。

問 農協と行政が一体となって農業政策を進めるべきではないか。

答 同感。そうした組織を一つのパートナーとして進めていきたい。

問 鳥獣対策は公共事業と同等にスピード感を持って進めるべき。

答 対策が迅速に実施できるよう支援していきたい。

問 生産基盤の強化や未来型の酪農畜産の展開が必要ではないか。

答 若手の農家や関係者の意見を聞いて、未来型の酪農体制の整備を進めていきたい。

移住定住について

問 移住実績について最大の評価をしたい。もっと推し進めるべき。

答 ノウハウもたまってきた。共有して人づくりをしていきたい。

問 移住から定住につなげるためには職が大事。企業誘致の際に労働環境整備が必要。労働条件を把握しているのか。

答 労働局と協調しながら職場環境をしっかりとモニターしていく。

町立病院の位置づけ

問 地域の医療人材を確保するため、早急に医療勤務環境改善センターを設置することが重要では。

答 医療勤務環境改善センターの設置に向けて検討に入る。

警察は地域の灯台

問 交番の看板を夜間や遠くからでも目立つようにすべき。また外国人にもわかりやすくすべき。

答 (警察本部長) 県民のご意見を伺いながら、他の道府県も参考にし、積極的な表示に努める。

一般質問

9月定例会では、24人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県の和牛振興

小谷 茂 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ① 基幹種雄牛の精液を県条例等の一定ルールで全国に販売し、その収入を基金として繁殖雌牛の増頭対策に充ててはどうか② 宮城全共に向けて、肉質を調べるアイミートの整備やそれを使う技術者の養成等の対策を講じるべきでは。

答 ① 和牛振興戦略会議を創設し、県内生産者への供給との兼ね合いも踏まえて方向づけを決定する。基金については、当初予算で検討する② アイミートは、早速更新について検討し導入していく。技術者の増員、体制整備も検討する。

大学・空の駅 砂丘・竹粉

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 ① 鳥取環境大学の国際交流② 空の駅③ 砂丘ビジターセンターは東西両側に設置を④ 竹粉の活用を。

答 ① 環日本海諸国との交流といえば鳥取環境大学だと言われるように取り組む② 銀杏議員の質問に対し調査事業を計上し、賀露・空港のゾーニング等年度内に結論を得る。鳥取砂丘コナン空港の愛称は来年春位までに決定か。近傍での悪臭対策を検討する③ 銀杏議員と同じ考えで議論が今後進んでいくだろう④ 悪臭対策で竹粉と鶏ふんをませ堆肥化する予備試験を検討する。

党派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 公明党…鳥取県議会公明党
- 希望の党…鳥取県議会希望の党
- 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団